

岩手県民の森

冬

見どころガイド

岩手山北麓の位置する県民の森は冬は雪景色。スノーシューなどの雪上道具があれば、初めての方でも快適に雪のなかを散策できます。雪遊びはもちろん、雪上の動物の足痕や、木々の冬芽観察など、冬ならではの楽しみがいっぱいです。



岩手山 白銀の岩手山稜線が眼前に望めます。



※現在立入規制中

【七滝氷瀑】

1月中旬～2月下旬。学習館から
片道約3km 徒歩約70分。

岩手山から流れる焼切沢にかかる落差30mの最大の滝が凍り付き、迫力のある大きな氷瀑となります。県民の森では、スノーシューを履いて氷瀑を観に行く行事を開催、個人のガイドも承っています。



【ニホンリス】

アカマツ林のなかで松ぼっくりを懸命に食べています。



【ヒレンジャク】

ヤドリギの実が大好きな冬に飛来する鳥です。

学習館ではレンタルも。

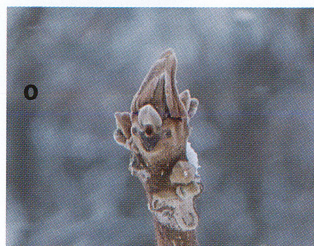


時間 9:00～15:00

- ・スノーシュー1台 1,000円
(ダブルストック付・子供用も有)
- ・ダブルストック 500円
- ・ソリ1台大500円・小100円
- ・スノーチューブ3時間 600円

【みんなの広場】

学習館から歩いてすぐの大雪原。スノーシュー体験に最適のフィールドです。晴れた日には岩手山や八幡平の山々が一望できる岩手県屈指の絶景スポットです。



オニグルミ (クルミ科)

「鬼胡桃」野生のクルミ。冬芽と葉痕は、動物の顔のよう。



オオカメノキ (ガマズミ科)

「大亀の木」バンザイしているような楽しい冬芽です。



ホオノキ (モクレン科)

「朴の木」人差し指ほどの日本一大きな冬芽です。



トチノキ (ムクロジ科)

「栃の木」ベトベトした樹脂が芽をコーティングして守っています。



シデコブシ (モクレン科)

「四手辛夷」モフモフの毛皮が芽を守っています。



ヤドリギ (ビャクダン科)

「宿り木」他の木に寄生している木。赤や黄色の実が目立ちます。

【動物の足痕】

これまで見えなかった動物たちの足痕が雪上に残ります。運が良ければ、足痕の主に出会えることもあります。



【ニホンカモシカ】

蹄が2つに分かれています。
(足痕長(蹄): 5-5.5 cm)



【ニホンリス】

進行方向は斜め左下。大きな後ろ足でジャンプ。(後足痕長: 5-6 cm)



【ヤマドリ】

前向きに3本が特徴です。
(足痕長: 6 cm)



【ノウサギ】

進行方向は右上。大きいのが後ろ足。(後足痕長: 14 cm)



【ニホンテン】

シャクトリムシのように走行することが多い。(足痕長: 3-5 cm)



【ホンドギツネ】

左右の足痕がほぼ直線に続く。(足痕長: 4-5 cm)